

# キルギス共和国概要

2020年12月  
(一社)ロシアNIS貿易会

## 1. 基本情報

(1)地勢:旧ソ連中央アジアの北東部に位置し、北部国境をカザフスタン、南をタジキスタン、西をウズベキスタン、東を中国に接する。天山山脈に連なる高地が国土の80%を占める山地国家。



(2)面積:19万9,900km<sup>2</sup>(日本の約2分の1)

(3)人口:652万人(2020年1月)

(4)首都:ビシュケク市(105万人、2020年1月)

(5)民族:キルギス人(73.6%)、ウズベク人(14.8%)、ロシア人(5.3%)、ドゥンガン人(1.1%)、ウイグル人(0.9%)、タジク人(0.9%)など(2020年)。キルギス人はもともとアジア系の遊牧民族、日本人と風貌がよく似ている。



(6)言語:キルギス語(チュルク語系の言語)。ただし、ロシア語も広範に使用される。

(7)宗教:キルギス人、ウズベク人はイスラム教スンニ派、ロシア人はキリスト教のロシア正教。

## 2. 政治情勢

### (1)略史

キルギス人は6世紀頃までシベリアのバイカル湖周辺に居住していた(キルギス人の多くは、キルギス人と日本人のルーツは同じと考えている)。7世紀以降、現在のキルギス領へ移動し、8世紀にはウイグル帝国、13世紀にはモンゴル帝国、18世紀半ばには清朝、19世紀前半にはコーカンド汗国の支配下にあった。

19世紀後半にはロシア帝国の支配下に入り、1917年のロシア革命後にはソ連に組み込まれ、1936年にソ連を構成するキルギス・ソビエト社会主義共和国となる。1991年12月のソ連崩壊とともに初めて独立し、キルギス共和国となる。

### (2)独立後

初代大統領のアカエフは、独立後、いち早く民主化と市場経済化に取り組み、西側からの評価も高かった。しかし、徐々に強権化や汚職等により、大部分が貧困にある国民の不満を買うようになり、2005年3月の議会選挙の不正問題をきっかけに暴動が発生、アカエフ大統領はロシアへ亡命、反アカエフ派の中心人物のバキエフ元首相が新大統領に就任した。

だが、バキエフ政権下でも政情は安定せず、2010年4月、再び政変が起こり(暴動による死者86名)、バキエフ大統領が失脚し、オトゥンバエヴァ元外相が暫定政府議長に就任。同年6月、議院内閣制を定めた新憲法の是非とオトゥンバエヴァ移行期大統領の信任を問う国民投票が実施され、翌7月に同氏が就任。新憲法下で行われた2011年10月の大統領選挙では、前首相のアタムバエフ氏が勝利し、12月大統領に就任した。2017年10月にアタムバエフ大統領の任期満了に伴う大統領選挙が実施され、ジェエンベコフ候補(前職:首相)が当選、同年11月24日に大統領に就任した。

しかし2020年10月の議会選挙不正を発端に騒乱が発生、同選挙の無効化が決定し政権が崩壊するとまもなくジェエンベコフ大統領が辞任を表明し、野党指導者のジャパロフ氏が大統領代行に就任した。なお2021年1月10日に大統領選挙が実施されることが決定し、同氏は出馬に向けて大統領代行を2020年11月15日に辞任（憲法規定により、現職大統領ないし大統領代行、および議会議長は次の大統領選に出馬できない）、現在はマムイトフ議会議長が大統領代行を務めている。

### (3) 大統領代行

T. マムイトフ(MAMYTOV, Talant Turdumamatovich) : 1976年3月ジャラル・アバド州生。1993年キルギス国立大学法学部卒業。2000～2001年バトケン州検察局職員。2001～2002年ジャラル・アバド州検察局検事。2002～2004年ジャラル・アバド州検察局監視官。2004～2005年チャトカリ地区検察局検事補佐。2005～2006年キルギス検察庁国際関係部検事。2006年チュイ州イスイク・アチンスク地区副検事。2006～2007年ジャラル・アバド州スザク地区副検事。2007～2009年ジャラル・アバド州トグズ・トロウスク地区検事。2010年10月～2013年キルギス共和国議会議員（アタ・ジュルト党）。2015年10月～キルギス共和国議会議員（アタ・ジュルト党）。2020年11月4日キルギス共和国議会議長に就任。2020年11月15日キルギス共和国大統領代行に就任（議長兼任）。

## 3. 経済状況

### (1) 経済水準

(イ) GNI(2019年) : 80億ドル。

(ロ) 国民1人当たりGNI(2019年) : 1,240ドル。

### (2) 主要産業・輸出品

(イ) 主要産業 : 農業(牧畜、綿花)、金採掘、水力発電、軽工業(繊維工業など)。

(ロ) 主要輸出品 : 非鉄金属・貴金属(金など)、繊維製品、農産物加工品、畜産品、電力。

### (3) 経済指標(前年比増減率、%、▲はマイナス)

|                   | 2012年  | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実質国内総生産成長率(前年比、%) | ▲ 0.1  | 10.9  | 4.0   | 3.9   | 4.3   | 4.7   | 3.8   | 4.5   |
| 鉱工業生産高成長率(前年比、%)  | ▲ 20.2 | 28.6  | ▲ 1.6 | ▲ 4.4 | 4.9   | 11.5  | 5.4   | 6.9   |
| 農業生産高成長率(前年比、%)   | 1.2    | 2.7   | ▲ 0.5 | 6.2   | 3.1   | 2.4   | 2.7   | 2.6   |
| 固定資本投資増減額(前年比、%)  | 42.1   | 7.6   | 24.9  | 11.4  | 5.8   | 6.6   | 3.3   | 5.8   |
| 商品小売販売高(前年比、%)    | 11     | 9     | 9     | 6     | 5     | 6     | 7     | 4     |
| 消費者物価指数(前年比、%)    | 2.8    | 6.6   | 7.5   | 6.5   | 0.4   | 3.2   | 1.5   | 1.1   |

(出所) CIS統計委員会、消費者物価指数のみキルギス国家統計委員会。

## 4. 対外関係

### (1) 外交

(イ) 経済面、安全保障面において、ロシアと密接な関係を持ち、米国、中国ともバランス外交を行っている。日本との外交関係も良好。

### (2) 貿易

#### (イ) 貿易額

輸出(2019年速報値) : 19億6,500万ドル。

輸入(2019年速報値) : 49億300万ドル。

(ロ)主要貿易国(2019年)

輸出:①イギリス、②カザフスタン、③ロシア、④ウズベキスタン、⑤トルコ

輸入:①中国、②ロシア、③カザフスタン、④トルコ、⑤ウズベキスタン

(3)日本との関係

(イ)日本は米に次ぐ第2位(2015年)の援助支援国。

(ロ)日本との貿易

日本の輸出(2019年):1,855万ドル(一般機械、ゴムタイヤおよびチューブ、輸送用機器ほか)

日本の輸入(2019年):53万ドル(天然はちみつなど食料品、ほか)

(ハ)在留邦人数(2019年):140人

注記:\*国名の日本語表記に関して、原語の綴りないし発音に忠実に表記する観点から「クルグス共和国」や「クルグズスタン」と表記される場合もあるが、本稿では日本国外務省が採用し且つ我が国で一般的に慣用されている「キルギス共和国」の表記を使用している。

(以上)